



2009年8月 第27号

- メダカ青空教室 開催
- 第9回定期総会 報告
- 新会員紹介
- 定例活動 報告
- 投稿「大泉に越した頃の話」その3

「白子川源流・水辺の会」の会報誌

「白子川な人」シリーズを始めるにあたって

今回からシリーズで、白子川と縁の深い方々に登場いただき、みなさんに紹介していきたいと思えます。ご期待下さい。

白子川な人(その1)

ぶん 東谷 篤/え 萩原和雄

川にカラーを根づかせ育てている

増山利勝さん

(東大泉7丁目在住)



■松殿橋の下の川の一角に、毎年可憐に優美にカラーの花が咲くのをお気づきの方も多しことだろう。川掃除のために川に入って傍で見ると、カラーの花は尚一層大きく見える。これはどこから来たものか、毎年毎年花の咲く時期に必ず話題にのぼっていたのだが、このたびようやく、その「種蒔く人」のお話を伺うことができた。■増山利勝さん、その人である。30年ほど前、家に咲いていたカラーのうち3本を、水に流されないように止めて育てたのがそもそもの始まりだと言う。カラーは芋や種で増える。きれいな湧水がこんこんと湧き出すこの辺りの水が合ったのだろう、カラーはその後大きくに育ち、毎年春から夏にかけて立派な花を咲かすことになった。その陰には、増山さんの並々ならぬ手入れの努力があったのだ。■川のフェン

スがまだ現在のように高くない頃は、ホームセンターで縄バシゴを買ってきて川に降り立ち、手入れをした。冬の水が少なくなる時期には、肥料をパラパラあげてきた。増山さんが言う、「このカラーは他のと比べて、花が大きいんですよ。原種はまだ、ここの家にあるんです。ほら、これです。」フラワーポットの中の「原種」は、川よりもずっと小さく見えた。■「そう言えば、私も以前カワニナをとりに行きましたよ、あの『蛍の会』で。」白子川に蛍を飛ばそうと15年ほど前に集まった会のこと。「結局飛ばなかったけど、みんな一生懸命で。」傍で奥さんが、「昔はいろんなことやりましたよ。最近はおね、川から離れたもんだから、なかなか行けなくて。」とほほ笑んだ。

定例活動

報告



◆ 5月24日(日)雨→晴れ

オオフサモとアオミドロの除去、川の掃除

……ごみ袋 32袋

参加者 12名

生き物の状況 ホトケドジョウ、クロメダカ、アズマヒキガエルのこども何匹か、ザリガニ多数、ギンヤンマ、ヒカゲチョウの仲間 **植物** オオフサモ、カンガレイ、アシ、ヒメアシ、ヒメガマ、ギシギシ、ミクリ、カワジシャ、ウキヤガラ、セリ、トキワツユクサ、オランダガラシ、カラーなど繁茂

◆ 6月28日(日)曇り→雨

川の掃除中心

参加者 7名

特に見られた生き物 イトトンボ

◆ 7月26日(日)晴れ

今、源流で最も元気なのはカンガレイ。木道に立つと水辺の視界が悪くなるほどの繁殖ぶりなので、思い切って刈取りしました。

カンガレイをこれ以上増やせない理由は、

①木道からの視界を悪くする、②大きくなる株が魚の泳ぐスペースを狭める、からです。種を落とす前に、もう一度刈取りする予定です。

生態工房の栗原様は、「活動の様子を見に」来られただけなのに、はからずも、鎌を片手の重労働となってしまいました、助かりました。

参加者 11名

特に見られた生き物 ショウジョウトンボ、

アメンボ

白子川源流域の測定データ

測定日		5/24	6/28	7/26
項目	水温	21℃	26℃	34℃
	水深			
源流(中ほど)	水深 (cm)	28	27	25
	水温 (℃)	17	18	22
	pH	6.4	5.6	5.4
井頭橋下	水深 (cm)	31	30	30
	水温 (℃)	19	19	19
	pH	6.6	5.9	5.9

場所は、源流部、井頭橋下、火の橋下付近で、それぞれ東側、中央、西側の3地点です。ほかに、透視度、電気伝導度、COD、川幅、堰の流量なども測定しています。

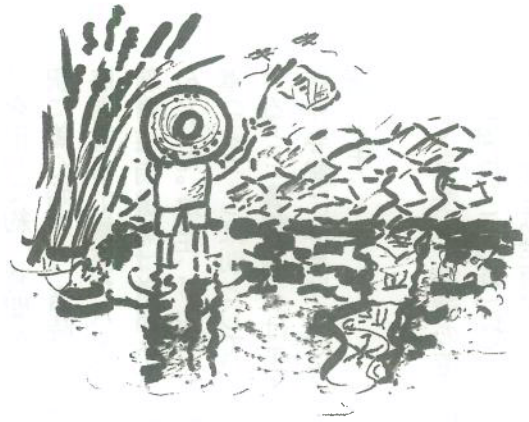
活動記録

5/14	会報「源流通信 26号」発行	6/28	定例活動
5/24	定例活動、まちセン助成金決定	7/12	町田ホタル鑑賞会
6/2	運営会議	7/18	竹炭用の竹切り
6/7	「身近な川の一斉調査」	7/26	定例活動
6/21	第9回 定期総会	8/1	源流まつり実行委員会
	本田純さんの思い出を語る会	8/9	メダカ青空教室

新会員紹介 ☆ 望月 孝

出身は山梨県の身延山に近い富士川沿いで育ちました。小学生の頃の私は、友人と近くの川へ瓶ジュースを持参し、川の水で冷やしておき、それを飲みながら終日川での水遊びを楽しんでいました。そして、練馬での生活は16年になります。水辺のある石神井公園近くへと移り住み、週末は小学4年生の息子とザリガニ釣りや、石神井川に沿ってサイクリングを楽しんでいます。

参加の動機は、職場を離れ何かをやって見たらの妻の一言と、一枚のプリント『きっと見つかる！』に掲載されていた“水”という文字が目にとまったからです。



活動に参加して、一人一人が色々な想いから活動をしているのを知り、私自身が豊かになっているのを感じます。人里に近い自然環境は、人の手によって維持されます。地域の豊かな自然を守って行くことで、白子川にたくさんの子供たちが集まり、川遊びを楽しめる様になれば良いと思います。

7/14(火) 10:30 —— 犬と散歩中の男性より電話「白子川源流のちょっと下、橋より手前で、フナかなにか釣っている人がいました」

白子川日記
情報 ありがとう
ございました

8/9(日) 16:15 —— 学生らしい男性より電話「中島橋付近でコイが浅瀬に乗りあげてます。助けられるでしょうか」※即刻対応し、救出。



夏休み特別企画 **メダカ青空教室** 開きました!

今年も、メダカ博士こと大塚重雄会員の庭で「メダカ教室」が開催されました。8月9日(日)午前10時と11時の2回、おもに小学3年生に声をかけ、集まったのが総勢20名ほど、親子の参加が多くみられました。



メダカたちは孵化したばかりの“ちびちゃん”から成長順に分けられ、大きな水槽では群れ泳ぐ元気なクロメダカに、ワーッと歓声があがりました。子どもたちはメモをとりながら大塚さんの話をよく聴き、いろいろなことを知りました。

◆産卵には水草より棕櫚しゅうろが良い。卵が見つけやすいから。◆1日15℃としたら10日(積算温度150℃)で孵化すること。◆孵化して2~3日は、かたゆで卵の黄身の汁がいいこと。◆親メダカのエサの量は、頭の半分ほど。残っていたらあげないこと。◆寿命は2~3年、などなど。

大塚さん、楽しいお話ありがとうございました。

再び過去の話ですが、当方のヤンチャ坊主共が小さかった頃は両親と遊びにゆくのは豊島園か西武園と決まっていたが、家では当時でも高い入園料の商業施設、遊園地等に行かせる暇(ひま)もお金もないので、これらには何回も訪れたことはありません。近傍では武蔵野の井の頭文化園か「日産」隣の広場、唯一屋上遊園地のある吉祥寺の多摩では珍しいデパート風の名店街を持つ「名店会館」(今は東急百貨店の敷地)がそれは子供達の人気の的でした。但しここへ行くには西武のボンネットバスに揺られ揺られ、あつちの森の脇、こつちの林の間を抜けてもうもうたるホコリを浴びて約一時間余もかかって吉祥寺駅に着く始末で、当時は(主要都道の)青梅街道も巾員僅か六、八メートル程で、新青梅街道等は道路予定地にすぎませんでした。現在、JR 中央線に出るには車(マイカー)は別として、バス路線を利用すると三鷹駅へ朝夕は平均二十分前後、吉祥寺駅には早ければ三十分内外で到達します。

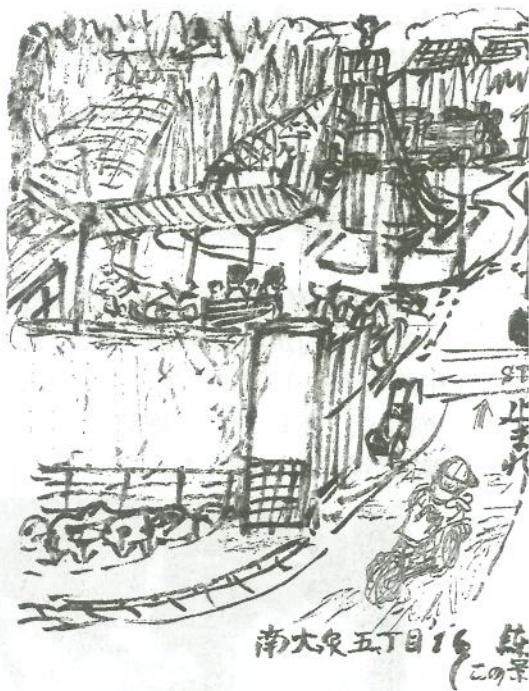
さて当家の子供達の遊び場は、処々の小公園(いこの森)以外にも区立交通公園、保谷では全面芝生で見晴らしのよい

「あらやしき公園」、一寸足を延ばすと、下保谷森林公園、南西側では元教育大敷地のカスケード、大噴水や展望台、和風庭園も持つ文理大公園も人気の的。また、南大泉の中心にある区立運動公園では、

それぞれ大供、子供互いにスペース折合いをつけて球戯や運動ゲームを楽しんでいます。また各所にある「区立いこの森」も捨てがたい場所で、時々保育園や幼稚園児たちがドングリ拾いなどを楽しんでいます。

かつて家の周囲も一面の麦畑で、時々ヒバリが一直線にピーッピーッと鳴きながら空に飛び上がり、芝生畑の上ではムク鳥の群れが虫をついばみ、広い屋敷森にはコジユケイが歩きまわり、数多くの梅林や竹林ではヤブウグイスの鳴き声が聞かれ、牛小屋やヤギ小屋では彼らの鳴き声がかにもものんびりした田園の雰囲気でした。

その中でも私の第一の白眉(ハイライト)は何と言っても原・白子川の発見でした。



この地へ越した一、二年経ったある日、息子達の黒い小さな頭がのぞく、私の押す四輪の乳母車は自宅を出て都道を横切り東南方に向かい広い畑と畑の間の狭い道をダラダラ下ってゆきました。そのうちに、ハンの木や柳の林の向うに笹ヤブの脇に青白くやや広い水面が出現し、水面には青い空と白い雲を浮かばせ、コサギが佇立する小川を発見したのはまさに驚きでした。この町なかにこんな別天地があったんだとひとりで悦に入っていました。子供達はコサギを「あつトリさんだ。見たことのないトリさんだ」と指差して叫んだことでした。

(次号つづく)



昭和37(一九六二年)南大泉の生活が始まった

大泉に越した頃の話(その3)

池野 明男

1100-0

私が本郷駒込から大泉西部南大泉町に居を定めることになつてほぼ四十数年。かつてこの町は、東京の郊外というよりは「在方(ざいかた)の片田舎」でした。南大泉は東大泉と合せて小樽(こぐれ)の里と呼ばれ、この近辺は昔から見れば文字通り「桑海の変」で様変わりしたことは前号でもお話ししたところです。

また恐縮ですが話を一寸過去に戻させてもらいます。今も昔も生活上先ず必要なものは「お金」ですが、以前はここ南大泉西北部には二、三の郵便局以外に金融機関(勿論ATMも)は一つもなく、銀行・信金などは石神井か吉祥寺に行くほかありませんでした。そのうち昭和三十八、九年頃駅前(今の交番がある付近)に三菱銀行保谷支店が開店し、のちに信組、信金も進出して生活上便利になりました。その後、この辺も農地の宅地化が盛んになり、土地を中心とした異常景気(いわゆるバブル)が到来、戸建住宅から共同住宅(マンション、フラット、コーポ等)に建築

様式が変化するとともに、主要道路の両脇には鉄筋の中、高層住宅が櫛比(せっぴ)するようになり、この「田舎町」もかなり急速度で都会化して来ました。

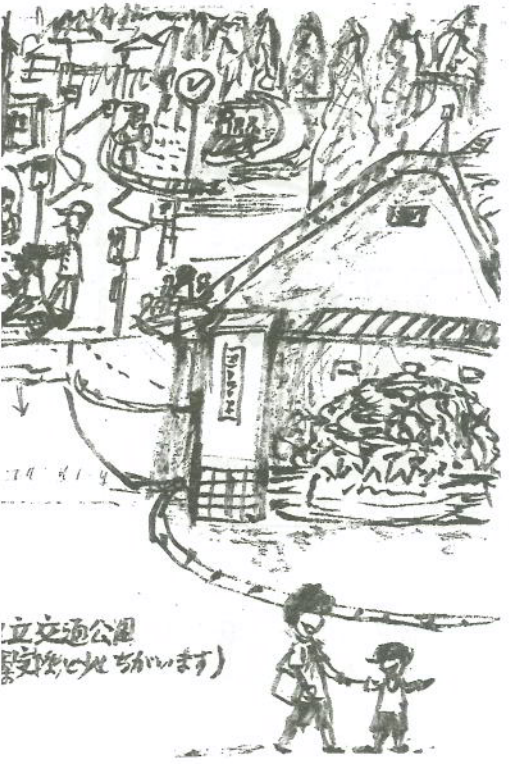
今では、かつて西大泉や保谷方面に続いていた田畑(おもに蔬菜畑や麦畑)の真中に歩道付き十五メートル幅の大路が保谷駅北口から北北西に完成し、コミニティバスも発車する駅前広場も完成、保谷駅の新築高層化と相まって駅北口は西大泉、保谷北部の「大玄関」に成長しました。

この駅北側は、南口から「スーパー丸正」が移転し、北口の広い道路には中小ビルが次第に増え始め、新たな都市景観を現出しています。南口は西側へ再開発ビルが建設中で、デスティアロードも建ち上がり、二年前には保谷駅と連続して公共共同ビルの「ステア(舵)」の完成と共に西友が再オープンし、五、四階は公民館や西東京市立駅前図書館が入居しております。

現在の保谷、南大泉(商愛商店会中心)

の商店群はチェーン店関係の進出にも拘わらず、個店もかなり数が多いのも保谷周辺の特色といえれば特色です。チェーン店群のあるのも便利ですが、在来店も末長くガンバッテ営業を続けてもらいたいのが住民の本音だと思います。また、私が西側の高層商業ビルの今後の動向に関心と興味を持つているところです。

さて、前述はごく最近の駅前や南大泉北西部の様子など述べて来ましたが、ここ南大泉は他の地区以上に子供の数がめっぽう多く、盆踊りや妙福寺のお会式や縁日となると大勢の小学生やチビッコの数がヤングと共にそれこそ「ハンパじゃない」程の人数となります。また、少子化なんかへのカツパです。



立文通公園
交番に地ちかいます)

第9回 定期総会報告

菅沢 博

6月21日に当会の定期総会が開催されました。総会の詳細は、全会員に配布済みの議案書の通りですので（区民のみなさんにお知らせするためにも）活動方針を要約して掲載します。

*

1. 定例活動 毎月第4日曜日 午後1時より
①水質等調査/②清掃活動/③生物観察
2. 水位計測 毎日早朝
3. 第9回白子川源流まつり 10/18(日)
4. 近隣小学校の総合学習への協力
5. 白子川の学校用教材の企画
6. 井戸調査と土壌調査
まちづくりセンター助成金対象
7. “隣村”と川イベント。会の紹介パンフ作成
まちづくりセンター助成金対象

8. 雨水浸透枡の普及、緑地・農地の保全、下水道改善の働きかけ
9. 聞き取り調査
10. 川体験の受け入れ、出前講座などの実施
11. 『湧水の白子川』プレートの取付
12. 「白子川グッズ」の販売促進と在庫確保（絵はがき、竹炭、わら筆、木製プレート）
13. ウェザーステーション計測
14. 白子川河川整備事業への取り組み
15. 会報（「白子川源流通信」）発行 年3回
16. ホームページの管理・運営
17. 井頭橋の掲示板の管理
18. 各種行事に出展する
19. 他団体との交流、協力

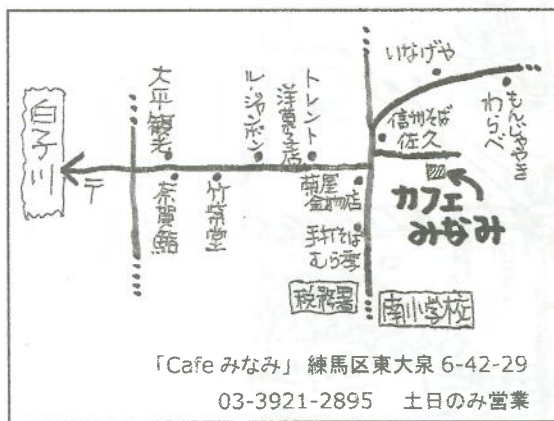
そのうち、きつと

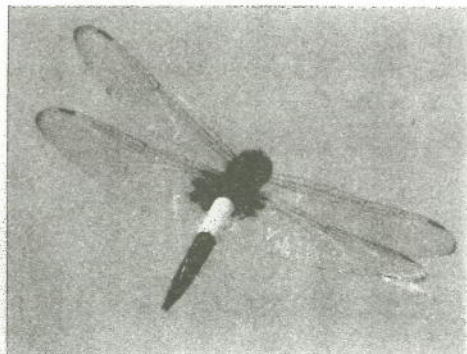
水辺の会の打合せでお邪魔している「カフェみなみ」の芝生の庭に、かわいいビオトープが出来た。

池につづく小川も造り始めている。メダカやタナゴは、井戸水の池だから喜んでいるし、庭の木々には野鳥がさえずるし、この店の猫も私たちと遊んでくれる。

上空のトンボは、小さな池も見つけるらしいから、そのうちヤゴも棲みつくかもしれない（ただ心配なのは、客数よりも生き物のほうが賑やかなことだが・・・）。

私は信じている、数年後には、暗くした店内でコーヒーを飲みながら、庭のホタルのかすかな光の見える日がきつと来ると。ホタルによって、あの頃のように、人と人が笑顔で出会える場にきつととなると。（菅沢）





白子川源流部にて撮影（インターネットより転載）

コシアキトンボ

最近白子川の源流部で見られます。動きが早く水面上を旋回して虫などを捕まえて食べます。以前は、石神井公園の三宝寺池あたりでは見かけましたが、分布域が広がっているようです。大きさはシオカラトンボより少し小さめで、頭の先から尻尾まで黒く、胴体の真ん中が白っぽい黄色です。

会員募集中

白子川の水辺環境を良くするために一緒に活動しませんか。

毎月第4日曜日1時から、大泉井頭公園内にて川掃除、生き物調査などを行なっています。



- ◎正会員 年会費 2,000 円
- ◎世帯会員 年会費 3,000 円
- ◎法人会員 1口 2,000 円以上
- ◎通信購読会員 年会費 1,000 円
(学生は無料)

今後のスケジュール

- 9/ 5 9時半～源流まつり実行委員会（2回目）
p.m. 竹炭づくり、プレート焼印
- 9/27 定例活動
- 10/ 4 源流まつり実行委員会（最終）
- 10/18 源流まつり
- 10/25 定例活動
- 11/22 定例活動
- ※ 9月：わら筆づくり / 11月：町なか表示板
設置 / 12月：X'マス 竹キャンドル
……日時未定

会のホームページ紹介

私たちの活動内容、白子川源流の様子や貴重な湧水が湧いていること、水質のこと、生き物、四季の風景などわかりやすく掲載しています。

http://www.geocities.jp/sirako_river/
（「白子川源流・水辺の会」と検索）

編集後記

▽7月半ば井頭の森でオスのカブトムシを見つけた。次の日ウソのように道端でメスを拾った。運命の二匹は腐葉土を入れた水槽で出会った。8月末ガラス側面にて小さな命の誕生を確認、嗚呼！（さ）

▽メダカには「エサはひとり占めせよ」という DNA があるようだ。だから、おとなと子どもは分けるんだ、と大塚メダカ博士。頭の上に粉エサたくさん振りまいたよー、ダメかなあ？（け）

※この会報は年3回発行しています。

発行 白子川源流・水辺の会
代表 菅沢 博
03-3923-8430
suga-lohas@jcom.home.ne.jp
題字 宮本 沙海
発行部数 730 部

ことしも楽しく白子川源流まつり!

10月18日(日)12:00~15:30

大泉井頭公園(雨天・南小学校体育館)



南小4年生の調べ学習発表「白子川博士になろう」

★クロメダカプレゼント

★雨水浸透の模型展示予定

★南小の白子川学習発表

★他お楽しみ多数

募集中!!

ご自慢のデジカメ写真、俳句、短歌、書画などを会場に展示します。

東谷まで (3921) 2521



住民の作品をワイドに展示する“白子川美術館”

7ページのゴシアキトンボ (カラー版)



インターネットより転載

